

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	福利厚生センター運営事業費	事業開始年度	平成6年度	作成責任者		
担当部局	社会・援護局	担当課室	福祉基盤課	定塚 由美子		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	社会福祉法第102条及び第103条 等	関係する計画、通知等	・民間社会福祉事業助成費(福利厚生センター運営事業)補助金交付要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会福祉事業従事者の確保を促進するため、社会福祉事業経営者が単独では実施できない職員に対する福利厚生事業を全国規模で共同化して実施すること等により、民間社会福祉事業従事者の福利厚生の向上を図り、人材確保に資することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社会福祉法に基づき設置されている福利厚生センターにおいて、小規模・零細事業者が単独では実施できない生活習慣病予防健診費用の支援や、病気や心の悩み等に関する健康相談、メンタルヘルス対策やレク・リーダー養成等の職員講習等の福利厚生事業を企画するとともに、新規加入会員の確保を推進し安定的な運営を図っている。 補助率: 定額					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国6ブロックで事業説明会を開催する等、会員の加入促進を図る 【21年度会員数 20.4万人(対前年度+0.8万人)】 ○ 福利厚生サービスの内容 <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理 ~ 生活習慣病予防健診費用支援、健康相談等 ・資質向上 ~ 講習会開催(メンタルヘルス対策、レク・リーダー養成、接遇等) ・余暇支援等 ~ クラブ・サークル活動支援、入院・障害・災害等支援 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	159	158	110	88	73
	執行額	158	158	110	/	/
	執行率	99%	100%	100%	/	/
	総事業費(執行ベース)	162	166	181	/	/
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業の進捗状況を随時把握するとともに、民間社会福祉事業助成費補助金交付要綱に基づき翌年度に提出される事業実績報告により確認。				
	見直しの余地	平成22年度に見直しを行った。				
予算監視の所見率化	<ul style="list-style-type: none"> 一部改善(事業の優先度を勘案し縮減) ・福利厚生センター運営事業費について、必要性を見直し、優先順位を付けるなどにより効率化を図ること。 					
補記						

厚生労働省
110百万円

【補助】
社会福祉法人 福利厚生センター
110百万円

〔 福利厚生センター運営事業の実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.社会福祉法人 福利厚生センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員俸給、諸手当、社会保険事業主負担金等	61			
委託費	委託先:都道府県地方事務局 会員管理業務	25			
庁費	借料及び損料(事務所借料、事務機器等リース代)、印刷製本費等	20			
その他	諸謝金、職員旅費等	4			
計		110	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0